



「庄内の生徒指導2024」の重点として推進します。青字部分は改訂版生徒指導提要进行の該当ページにジャンプします。

【重点1】学習指導と生徒指導の一体化
生徒指導の実践上の4つの視点を生かした「どの児童生徒にも分かりやすい授業」による全ての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の推進。

【重点2】家庭・地域・関係機関との連携
学校の生徒指導基本方針や諸課題への対応方針について職員間で共有するとともに、家庭・地域・関係機関と連携した生徒指導の推進。

【重点3】SOSを出せる学校づくり
児童生徒が自他の「心の危機に気づく力」と「相談する力」を身に付ける教育活動の推進。
教職員が連携して児童生徒のSOSを受けとめる教育相談体制の充実。

生徒指導の実践上の4つの視点
(1) 自分も一人の人間として大切にされているという自己存在感の感受
(2) 相手の立場に立って考え、行動できる共感的な人間関係の育成
(3) 考え、選択し、決定する、発表する、制作する等の自己決定の場の提供
(4) 個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活を送れるような安全・安心な風土の醸成

生徒指導の定義
児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができ存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のこと。課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行う。

生徒指導の目的
個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えること。

Table with 4 columns: 生徒指導の構造 (2軸3類4層構造), いじめ, 不登校, 命を守る. Rows include 継続的・即応的 (リアクティブ) and 先行的・常態的 (プロアクティブ) types of guidance.

※詳細については、改訂版生徒指導提要进行を参照のこと